

## 第22回 第2章 現代の経済

### 第2節 現代経済のしくみ

講師

升野伸子

# 国民所得と経済成長

### 学習のねらい

今回のテーマは、「国民所得と経済成長」です。経済活動には、1つ1つの経済主体にかかわることと、経済活動全体にかかわることがあります。経済活動全体を示す数字にはどのような種類があるのか、それはどのような性質があるのかを理解して、景気という、経済活動全体の大きな動きを理解できるようになりましょう。

調べておこう  
覚えておこう

ストック／中間生産物／国内総生産／国民総生産／フロー／  
デフレーション／名目経済成長率／実質経済成長率／  
国民所得／デフレスパイラル／経済成長率／インフレーション

※下記の空欄 \_\_\_\_\_ を「調べてみよう 覚えておこう」の語句で完成させましょう。

#### POINT 1

### 経済活動を比較するためには？

- 経済活動を比較するとき、去年と今年で、何がいくつ生産できたかを比べても、それぞれ異なるものであるためうまく比較できません。そのため、生産したものを、金額で比較する指標であらわします。
- 1年間にその国の企業が生み出した国内生産総額から、原材料費の売上である、<sup>①</sup> \_\_\_\_\_ の金額を引いたものが、<sup>②</sup> \_\_\_\_\_ (GDP) となります。GDPは、国内の指標なので、海外に住んでいる日本人が生産した金額は含まず、国内の外国人や外国企業が生産した金額を含みます。国内の日本人や日本企業が生み出した生産額に限り計算したものが、<sup>③</sup> \_\_\_\_\_ (GNP) です。
- GDPやGNPなどを、より実質に近い数字として示すものが、<sup>④</sup> \_\_\_\_\_ (NI) です。どの数値も、ある一定期間その国が生み出した豊かさを示す金額です。

#### POINT 2

### GDPの課題

- GDPの長所は、「比較ができる」ということです。前年と比べて、金額そのものを比べることもできますし、どのくらい成長したかを示す、<sup>⑤</sup> \_\_\_\_\_ を出すこともできます。また、外国との比較や、一人当たりの金額なども計算することができます。
- GDPの短所に、市場で取り引きされたものしか計算されないという点があります。家庭内で行う家事などは含まれません。また、害虫が大発生したときに大量購入された殺虫剤と

いった、豊かさを示さない数字が含まれてしまうという点があります。

- GDPは一定期間に生み出された量<sup>⑥</sup> ..... の考え方です。それに対して、ある時点にどのくらいのお金や建物・機械など設備が蓄積されているか、を示すものが<sup>⑦</sup> ..... の考え方です。一定期間に生み出された量<sup>⑥</sup>が大きくても、お金を使う機会が多ければ、あまり残りません。逆に、今のストックが大きいと、フローが少なくても生活しやすいこともあります。GDPの数値だけでは、判断できないのです。

### POINT 3

#### 景気が悪いとどうなる？

- 経済の大きな動きには、2つの面があります。不景気（不況）のときには、モノがあまり売れず、企業の売れ行きが下がり、労働者の賃金が下がったりします。逆に好景気（好況）のときは、モノが良く売れ、企業の売り上げも伸び、労働者の賃金が上がっていくことが多くなります。
- モノが売れすぎると、物価が上がり続ける、<sup>⑧</sup> ..... が起こったりします。反対に物価が下がっていくことを、<sup>⑨</sup> ..... といいます。
- 経済の数値、例えば経済成長率や賃金の変化を比較するとき、みかけの金額だけを比較したものを、<sup>⑩</sup> ..... 、物価の変動を織り込んで比較したものを、<sup>⑪</sup> ..... といいます。
- デフレーションのときに、人々が将来もっと物価が下がるだろうと予測し、モノを買わなくなってしまう、ますますモノが売れない悪循環になってしまうことを、<sup>⑫</sup> ..... といいます。

① 中間生産物 ② 国内総生産 ③ 国民総生産 ④ 国民所得 ⑤ 経済成長率 ⑥ フロー ⑦ ストック  
⑧ インフレーション ⑨ デフレーション ⑩ 名目経済成長率 ⑪ 実質経済成長率 ⑫ テラリスパラル